

異学年活動の工夫

目的

大野小学校の児童（「まめっ子」と呼んでいます）が、さらに相手の気持ちを考えたり、相手のことを考えて行動できたりするように、年間を通して異学年活動に取り組んでいます。また、この活動によって一人ひとりの自尊感情を高めたり、自己存在感を持たせたりするようにしています。

内容

● まめっ子リーダー研修会・まめっ子集会（異学年による活動）

まず、まめっ子リーダー研修会で、地域の寿会（老人会）や婦人会の人たちを招いて、6年生がまめっ子集会で行う活動の仕方等を教えてもらいました。

その教えてもらったことを、今度は6年生が中心となって異学年グループで活動します。この活動をとおして、異学年間の相互交流を深めるとともに、上学年のリーダーシップと下学年のフォローシップを育てています。本年度の活動内容は、うどん作りや折り紙、ペタンクなどです。



【まめっ子集会（うどん作り）】

● まめっ子清掃（異学年による清掃）

1学期は各クラスで清掃場所を分担して清掃を行いましたが、2学期からは異学年グループで清掃を行うようにしています。児童は、異学年グループで清掃を行うことにより、6年生が下級生に清掃の仕方を教えたり、黙って清掃に取り組むように声かけを行ったりしてリーダー性を高めています。



【まめっ子清掃】

● まめっ子タイム

第3・4週の金曜日の朝の時間を「まめっ子タイム」とし、異学年グループによる活動を実施しています。年度当初にグループ編成を行い、運動会の「まめっ子ダンス」練習や読み聞かせ、まめっ子集会のお礼状作り、グループ遊び、卒業する6年生へのプレゼント作りなどの活動を実施してきました。

また、2つの学年がペアになってあいさつ運動も行いました。この運動には、保護者の人たちも参加しました。全校生で「あかるい声で、いつでも、自分からさきに、つづけよう」を合い言葉に取り組みました。



【まめっ子タイム（読み聞かせ）】

成果

児童の4段階評価では、昨年度と比較して「気持ちのよいあいさつをしている」+0.3、「学校行事やまめっ子集会などでのいろいろな体験ができるので楽しい」+0.3、「清掃では、決められた場所を心を込めて美しくすることができた」+0.3と異学年活動にかかわる評価が高くなりました。さらに、自分を大切にするとともに友だちに優しく接している」+0.4と、自他を大切にしたいと感じている児童も増えています。次年度もこの活動を工夫し、より一層充実させていきます。